

設定の手順

このマザーボードは各ユーザのシステムに適應した設定ができるように、いくつかの変更可能なジャンパー/スイッチがボード上に設置されています。この章ではそれぞれのジャンパーの設定について説明します。

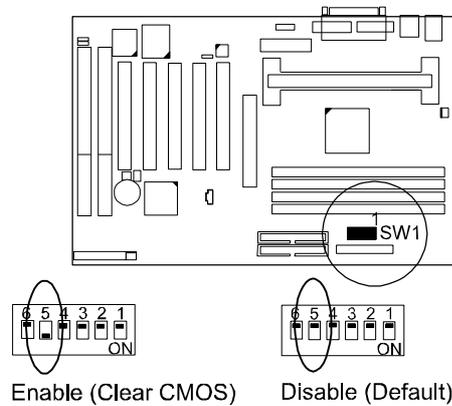
以下のステップに従い、コンピュータの組み立て及び設定を進めてください。

- ステップ1
システムジャンパー/スイッチの設定
- ステップ2
メモリモジュールの装着
- ステップ3
CPUの装着
- ステップ4
拡張カードの装着
- ステップ5
各ケーブル類と電源の接続
- ステップ6
BIOSの設定
- ステップ7
サポートソフトの設定

注意：このマザーボードをケースに設置する際に、電気ドリルを使用する場合は静電気防止リストを着用してください。チップのピンに損傷を与えないために、推奨するトルクは 5.0 ~ 8.0 kg/cm です。

CMOSの解除: SW1-5

CMOS RAMはボード上に搭載されているセルバッテリーにより電源を供給されています。RTCデータを消去するには次の手順にしてください。(1) コンピュータの電源を落とします。(2) SW1-5をOnの位置に設定してこの機能を「Enabled」にします。(3) コンピュータの電源を投入します。(4) コンピュータの電源を落とします。(5) CMOS解除機能を無効にします。(6) コンピュータの電源を投入します。(7) ブート時にDeleteキーを押してBIOS Setupに入り、新しい設定を行ってください。



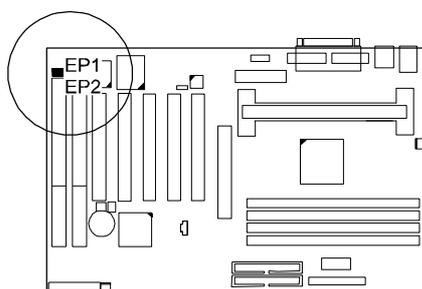
パスワードの解除: SW1-6

このジャンパーで、パスワードの設定を有効または無効にします。パスワードを忘れた場合は次の手順でパスワードを解除できます。(1) コンピュータの電源を落とします。(2) SW1-6をOnの位置にセットするとパスワードを解除できます。(3) コンピュータに電源を投入します。(4) コンピュータの電源を落とします。(5) SW1-6をOffの位置にセットしてパスワード解除機能を無効にします。(6) コンピュータに電源を投入してください。(7) ブート時にDeleteキーを押してBIOS Setupに入り、新しいパスワードを入力してください。

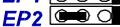


Flash ROMタイプの選択: EP1, EP2

この2つのジャンパーで、Flash ROMチップのタイプを選択できます。このジャンパー設定は、このボードの製造上のデフォルト値に設定されています。マザーボードに装着されているFlash ROMのタイプを確認する場合は、チップのステッカーをはがして確認してください。



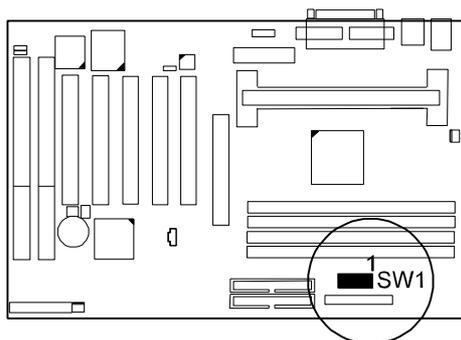
2MB:

MXIC 28F2000TPC **EP1**  **EP2** 

SST 29EE020 **EP1**  **EP2** 
 ATMEL AT29C020
 AMD AM29F002NT

CPU 内部周波数: SW1-1, SW1-2, SW1-3, SW1-4

これら 4 つのジャンパーはCPUの内部周波数を決定します。



<i>Ratio</i>	<i>Bus Frequency</i> = <i>100MHz</i>	<i>Bus Frequency</i> = <i>66MHz</i>	<i>Switches Settings</i>
3.5 x	350MHz	233MHz	
4 x	400MHz	266MHz	
4.5 x	450MHz	300MHz	
5 x		333MHz	